

VI 青少年教育の充実

青少年を取り巻く環境は、少子・高齢化や情報化の進展、ライフスタイルの多様化など、大きく変化しており、自ら考え問題を解決する力や、人と協調し、人を思いやる心など、「生きる力」の育成が重要である。

また、今日の青少年に不足がちと言われている自然とふれあう体験や社会的な体験の機会を豊かにすることも青少年の健全な成長に必要である。

そのために、青少年の生活体験・自然体験等の機会の充実、ボランティア活動の推進、青少年団体活動の一層の促進、異世代間や障害者との交流、国際交流活動等の場の充実、キャリア教育の推進等をさらに押し進め、青少年の健全育成に努めていくことが重要である。

1 青少年の奉仕活動・体験活動の推進

(1) 通学合宿推進事業

主に小学校4年生から6年生くらいの子供たちが、地域の公民館等に2泊から6泊程度宿泊し、親元を離れ、団体生活の中で食事の準備や洗濯・掃除など、今まで親が行うことが当然だと思っていた日常生活の基本を自分自身で行いながら学校に通う。

この通学合宿では、子供たちの自立心・社会性・自主性・協調性を伸ばし、「生きる力」を育むとともに、地域の人たちが関わることにより地域の教育力の向上が期待される。今後、県内の多くの地域で実施されるよう積極的に推進を図る。

【平成30年度実施予定】

17市町村で34事業、4青少年教育施設で8事業実施の予定。

〔平成29年度は17市町村で37事業、5青少年教育施設で9事業（内3事業は市と共催）が実施〕

ア 通学合宿の効果

- ・ 親元を離れて、年齢の異なる集団の中で一定の期間生活することにより、自立心や社会性が身に付く。
- ・ 家事などの日常の生活を自分自身で行うことにより、子供の自主性・協調性が高まる。
- ・ 地域の方が運営に関わることにより、地域で子供たちを育てる意識などが芽生える。
- ・ 高校生や大学生のボランティア活動への参加機会の拡充を図ることができる。

イ 拡大に向けた取組

(ア) 課題

平成29年度は、17の市町村において実施されたが、参加者数は1,091名と前年度より微増しているが、今後、さらに多くの児童生徒が通学合宿を体験できるような対策が必要である。

ウ 通学合宿の全県的促進

- ・ 市町村の先進的な取組を、各種会議や研修会等を通じて紹介したり、県教育委員会ホームページ（生涯学習・社会教育＞学校・家庭・地域の連携＞開かれた学校づくり＞通学合宿推進事業）で積極的に情報提供したりして、各市町村の実情に応じた通学合宿の取組を支援する。
- ・ 平成23年度に実施した「通学合宿調査研究事業」の成果である、子供の体験活動の重要性やモデルプログラムを各市町村に伝達し、普及拡大を図る。

(2) さわやかちば県民プラザにおける事業

生涯学習社会を背景にボランティア活動や体験活動の重要性が高まっている中、青少年の活動の場を提供し、コミュニケーション能力や豊かな人間性を育む機会として、青少年の活動を支援する。

<平成29年度の実績>

(1) 子どもチャレンジプロジェクト

内 容 小学生が中心となり企画・運営しながら、多様な体験をすることにより他との関わりを学習するとともに、企画したイベントを開催する。

期 日 平成29年7月から平成30年3月のうちの19日

参加者 延べ2,052人

(2) 高校生のためのボランティア体験講座

内 容 様々な分野の講義、実習を通してボランティアについて学び、その後実践する。体験活動等を通してボランティアの啓発を図る。

対 象 県内在籍高校生

期 日 平成29年6月から9月のうちの6日

及び夏季休業期間中7時間以上のボランティア活動

参加者 延べ186人

(3) ヤングパワームーブメント

内 容 若者の自主的な活動やボランティア活動及び学びの内容や成果を社会に発信する。学生（高校生含む）及びそれに準ずる社会人が実行委員としてイベントの企画・運営をする。

期 日 イベント：平成29年10月1日（日）

実行委員会：平成29年4月から平成30年2月のうちの12日

参加者 2,665人

実行委員 36名

2 青少年教育施設における自然体験・生活体験活動の推進

(1) 体験活動推進事業（各県立青少年教育施設で実施）

豊かな人間性やたくましく生きる力を培うために、奉仕活動や体験活動の重要性が指摘され、その充実が強く求められている。

青少年教育施設の豊かな自然環境を活用した宿泊を伴う自然体験や生活体験などを通して、学校では体験することのできない失敗体験や成功体験を積み重ねながら対人関係能力を育成する。また、各施設における利用団体の安全・安心を確保するとともに、立地条件や機能を生かした体験プログラムを通して、主体的に判断・行動できる実践的能力を育成する。

ア 事業内容

- (ア) 通学合宿や防災キャンプ等の宿泊体験事業
- (イ) 青少年の喫緊の課題に対応した事業
- (ウ) 体験活動や野外活動の普及・推進に係る事業
- (エ) 少年自然の家まつり等、少年自然の家の利用促進を高める事業
- (オ) 青少年指導者を対象とした事業
- (カ) 教育委員会が指定する事業
- (キ) 地域や関係団体と連携した事業
- (ク) その他、千葉県の施策に係る事業

イ 具体的事業（例）

- ・ラート体験 ・爽快カヌーツーリング ・100人deスーパー芝滑り
- ・東金学寮 ・シーカヤック体験教室 等

(2) 千葉県体験活動指導者養成事業（各県立青少年教育施設で実施）

県立青少年教育施設の持つ豊かな自然環境の下、経験豊富な自然体験活動実践家を講師としたセミナーを実施し、学校等における自然体験活動等の体験活動指導法や安全管理法の講義や実習をとおして、中学校・高等学校での自然体験活動の他、学校外における青少年に対する自然体験活動を支援する指導者の養成を行い、青少年の体験活動の支援体制を充実させることで、県内における体験活動の普及・推進を図る。

【平成30年度実施予定】

名 称	会 場	期 日	実施内容	募集数
野外炊飯研修会～小中学校教員向け～	手賀の丘少年自然の家	6月15日(金)	野外炊飯研修会	30名
授業に活かせるプラネタリウム!	手賀の丘少年自然の家	8月7日(火)	天体の事前学習体験会	30名
自然体験活動指導者研修会 ～小中学校教員向け～	手賀の丘少年自然の家	11月24日(土) 11月25日(日)	自然体験活動の指導者技術向上と安全管理の技能の習得	30名
RAC学校リーダー養成講座	水郷小見川少年自然の家	5月13日(日)	水辺で安全に活動するための基本を学ぶ	30名
指導者養成講座	水郷小見川少年自然の家	7月28日(金) 8月25日(金) 1月27日(日)	野外炊飯の基本,簡単なゲームの習得	40名
MFA講習会	水郷小見川少年自然の家	3月16日(土)	命を救う方法の習得	30名
自然体験活動における安全管理入門	君津龜山少年自然の家	8月26日(日)	野外活動での安全管理を学ぶの研修	30名

教員のためのサバイバルスキル 入門 ～火おこし編～	津島山少年自然の家	11月17日(土) 11月18日(日)	火に関するサバイバル スキルの習得	30名
演劇の手法から学ぶ発声・表現 法	津島山少年自然の家	1月20日(日)	発声や表現法について 演劇を通じた研修	30名
教員のための野外体験 活動実技研修 1	東金青年の家	8月3日(金)	野外体験活動指導に役 立つ実技等の研修	30名
教員のための野外体験 活動実技研修 2	東金青年の家	10月28日(日)	野外体験活動指導に役 立つ実技等の研修	30名
自然体験活動指導者 養成研修	東金青年の家	①2月3日(土) ～4日(日) ②2月17日(日)	自然体験活動の意義、安 全管理に関する研修	30名
体験活動指導者研修会	鴨川青年の家	8月24日(金)	シーカヤック体験、野外 炊事などの研修	40名
教員のための野外活動実技研修	鴨川青年の家	10月6日(土)	海洋プログラムと野外炊飯など体験 活動の研修会	48名

※募集対象は、大学生及び教員等学校教育関係者、青少年教育関係団体指導者、青少年教育施設職員、子ども会指導者等地域における青少年指導者

<平成29年度の実績>

名 称	会 場	期 日	実施内容	募集数
授業に活かせるプラネタリウム!	手賀の丘少年自然の家	8月8日(火)	天体の事前学習体験会	30名
自然体験活動指導者研修会 ～小中学校教員向け～	手賀の丘少年自然の家	11月25日(火) 11月26日(日)	自然体験活動の指導者技術向上と安全管理の技能の習得	30名
指導者養成講座	水郷小見川少年自然の家	7月28日(金) 8月25日(金)	野外炊飯の基本, 簡単なゲームの習得	40名
集団作りゲーム講習会	水郷小見川少年自然の家	1月27日(土) ～28日(日)	レクリエーションゲームに関する研修会	40名
レクリエーション研修会	水郷小見川少年自然の家	2月10日(土) ～11日(日)	学級等で使える集団作りの研修	40名
水辺の安全講座	水郷小見川少年自然の家	8月29日(火)	水辺で安全に活動するための基本を学ぶ	10名
自然体験活動における安全管理入門	君津亀山少年自然の家	8月20日(日)	野外活動での安全管理を学ぶの研修	30名
教員のためのサバイバルスキル入門 ～火おこし編～	君津亀山少年自然の家	11月19日(日)	火に関するサバイバルスキルの習得	30名
教員のための発声・表現法	君津亀山少年自然の家	1月21日(日)	発生や表現法についてレッスンを通した研修	30名
プロジェクトWETエデュケーター講習	東金青年の家	6月11日(日)	水と生活のかかわりを総合的に学ぶ研修会	30名
教員のための野外体験活動実技研修 1	東金青年の家	7月28日(金)	野外体験活動指導に役立つ実技等の研修	20名
教員異業種体験研修①②	東金青年の家	① 8月2日(水) 8月3日(木) ② 8月9日(水) 8月10日(木)	野外体験活動指導に役立つ実技等の研修	30名
自然体験活動指導者養成研修	東金青年の家	①2月3日(土) ～4日(日) ②2月18日(日)	自然体験活動の意義, 安全管理に関する研修	30名
体験活動指導者研修会	鴨川青年の家	8月25日(金)	シーカヤック体験, 野外炊事などの研修	30名
教員のための体験活動実技研修	鴨川青年の家	10月1日(日)	海洋プログラムと野外炊飯など体験活動の研修会	48名

合計 511名

[参加者内訳]

職 業 別 (名)			年 代 別 (名)				
項 目	男 性	女 性	合 計	項 目	男 性	女 性	合 計
教 員	212	252	464	10代以下	4	0	4
行政関係職員	5		5	20代	144	169	313
施設職員	11	6	17	30代	64	63	127
一 般	7	11	18	40代	15	18	33
学 生	5	2	7	50代	8	20	28
その他				60代以上	3	3	6
合 計	240	271	511	合 計	240	271	511

※ この他に、学校等の要望による個別対応として、フォローアップ研修等の教員受け入れ実績が5施設合計で延べ30日あり、参加者総数は92名であった。

3 子供の読書活動の推進

子供の読書活動推進に係る施策を総合的に推進するための指針として、平成27年3月に「千葉県子どもの読書活動推進計画（第三次）」を策定し、乳幼児期から読書に親しむ機会の充実、子供が自主的に読書に親しむことができる環境の整備、子供の読書活動の普及啓発に取り組んでいる。

具体的な事業は、次のとおりである。

【平成30年度子供の読書活動の推進事業】

(1) リーフレットの作成・配付

ア 目的 家庭における子供の読書活動の意義を啓発するため、発達段階に応じた保護者向けのリーフレットを作成・配付するとともに、読書県「ちば」を目指す。

イ 概要 対象：0歳児及び小学校1年生の保護者
部数：合計105,000部

(2) 千葉県子ども読書の集い

ア 目的 子供の読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、学校や家庭・地域における子供の読書活動の推進をめざす。

イ 概要 期日：平成30年5月12日（土）
会場：千葉県文化会館 小ホール
内容：実践発表 平成30年度子どもの読書活動優秀実践団体
奈良輪 らッキー隊（袖ヶ浦市）
おはなし“もくもく”（茂原市）
講演 いしかわ こうじ 氏（絵本作家）
交流会 ビブリオバトル おすすめの本100冊展示 など

(3) 公立図書館と学校の連携を図るための研修会

ア 目的 学校図書館の活性化や、子供の読書活動の充実・推進を図るために、公立図書館と学校図書館の効果的な連携の在り方について考える。

イ 概要 期日：平成30年8月20日（月）
会場：千葉市民会館
内容：実践発表（平成30年度子どもの読書活動優秀実践校・優秀実践図書館 他）
パネルディスカッションを予定

(4) 読み聞かせボランティア入門講座（県立中央図書館主催）

ア 目的 読み聞かせボランティアを対象に、読み方などの技量アップを図っていくことで、子供を取り巻く読書環境の一層の充実を図る。

イ 概要 期日：第1回 平成30年 9月24日（月）
第2回 平成30年11月15日（木）
会場：第1回 鴨川市立図書館
第2回 大網白里市保健文化センター
対象：読み聞かせボランティア

(5) 読み聞かせ講座（さわやかちば県民プラザ主催）

ア 目的 絵本の読み方や選び方、朗読の仕方を学び、その効果を理解し、今後の教育活動に生かす。

イ 概要 (ア) 教職員のための読み聞かせ講座
期日：平成30年8月10日（金）
会場：さわやかちば県民プラザ
(イ) 読み聞かせ講座(一般対象)

期日：平成31年2月1日(金)

会場：さわやかちば県民プラザ

＜平成29年度の実績＞

(1) リーフレットの作成・配布

ア 目的 家庭における子供の読書活動の意義を啓発するため、発達段階に応じた保護者向けのリーフレットを作成・配布するとともに、読書県「ちば」を目指す。

イ 概要 対象：0歳児及び小学校1年生の保護者
部数：合計105,000部

(2) 千葉県子どもの読書活動啓発の集い

ア 目的 子供の読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、学校や家庭・地域における子供の読書活動の推進をめざす。

イ 概要 期日：平成29年5月13日(土)
会場：千葉県文化会館 小ホール
内容：実践発表 平成29年度子どもの読書活動優秀実践団体
野田市立岩木小学校 本のはらっぱ
おはなし“もこもこ” (睦沢町)
講演 聞かせ屋。けいたろう 氏 (読み聞かせ師・絵本作家)
交流会 ビブリオバトル, おすすめの本100冊展示・貸出 など

(3) 公立図書館と学校の連携を図るための研修会

ア 目的 学校図書館の活性化や、子供の読書活動の充実・推進を図るために、公立図書館と学校図書館の効果的な連携の在り方について考える。

イ 概要 期日：平成29年8月18日(金)
会場：千葉市民会館小ホール
内容：実践発表 平成29年度子どもの読書活動優秀実践校・優秀実践図書館
船橋市立海神南小学校, 柏市立土小学校
白井市立大山口小学校, 香取市立図書館
講演 梅澤 貴典 氏 (中央大学職員)

(4) 読み聞かせボランティア入門講座 (県立中央図書館主催)

ア 目的 読み聞かせボランティアを対象に、読み方などの技量アップを図っていくことで、子供を取り巻く読書環境の一層の充実を図る。

イ 概要 期日：第1回 平成29年11月27日(月)
第2回 平成30年 1月25日(木)
会場：第1回 一宮町中央公民館
第2回 勝浦市芸術文化交流センターキュステ
対象：読み聞かせボランティア

(5) 読み聞かせ講座 (さわやかちば県民プラザ主催)

ア 目的 読み聞かせの必要性や効果を理解するとともに、絵本の選び方や読み方を学び、今後の活動に活かすことを目的とする。

イ 概要 (ア) 教職員のための読み聞かせ講座 会場：さわやかちば県民プラザ
期日：平成29年7月28日(金)
(イ) 読み聞かせ講座(一般対象)
期日：平成30年2月2日(金) 会場：さわやかちば県民プラザ